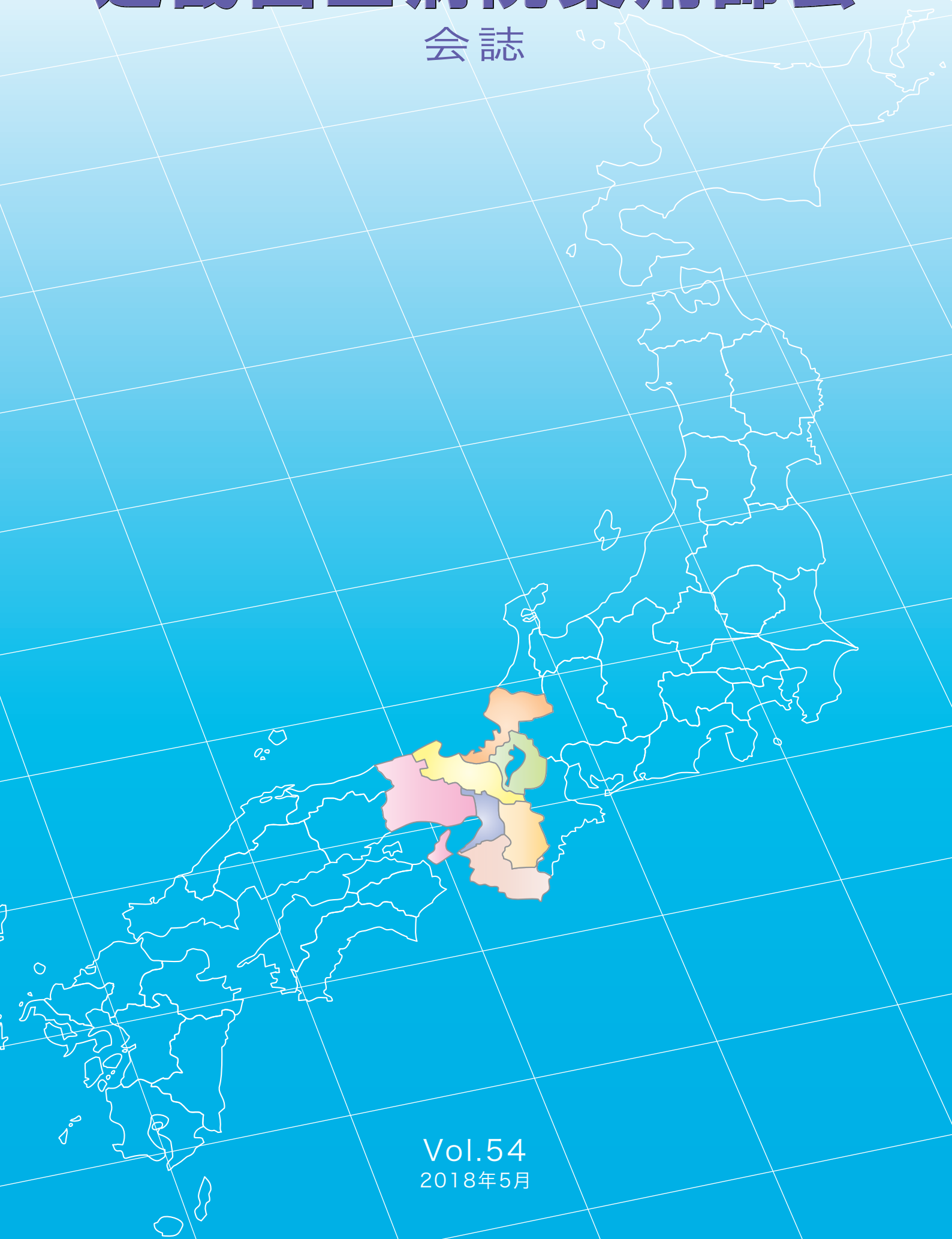


近畿国立病院薬剤師会

会誌



Vol.54
2018年5月

目 次

提言 ～人材育成～	2
東近江医療センター 河合 実	
薬剤部紹介.....	3
兵庫あおの病院 岸本 歩	
実務実習生合同成果発表会を終えて.....	5
南京都病院 桑原 明日香	
平成 30 年度近畿国立病院薬剤師会学術大会 学術集会報告.....	6
宇多野病院 壇 梨恵	
平成 30 年度 新採用職員(コ・メディカル部門)研修に参加して.....	8
京都医療センター 藤本 佳奈	
日本環境感染学会総会・学術集会に参加して.....	9
京都医療センター 宮地 由香里	
新採用者紹介.....	10
趣味のページ ～文豪たちの愛した外湯めぐり～.....	19
やまと精神医療センター 大住 悠介	
編集後記.....	20

提言

～人材育成～

東近江総合医療センター 河合実

昨年4月に薬剤科長を拝命し、京都からやまとの地へ異動となった。初めての部門長であり、久々の療養所でもあることから若干の不安の船出となった。薬剤科員は私を含めて3名と意思疎通は取りやすく毎日10分から30分の朝礼の後に業務開始となった。私はまず業務内容の把握と運用マニュアルの検証を行った。過去から引き継がれている良い部分は継承しつつ効率的かつ効果的な運用を構築することをモットーに改革をおこなっている。

その第一歩として、まだ解決されていない課題を発見し、提起していくことが重要である。課題とは理想とする状態と現実との差のことであり、課題を発見するためには、まず、心に高い志を抱くことが不可欠です。これはコンピュータや人工知能がどんなに発達しても、人間にしか出来ないことです。志を持って、主体的に学び、「なぜ、そうなるのか」(Why)を考え、課題を発見する能力を高めることが必要です。また課題解決に当たっては、他者と協力して対応しなければならない場合も有り、リーダーシップや責任感、さらには相手に説明し、納得してもらい論理性や、人の心を動かすプレゼンテーション能力を養うことも不可欠です。未知の課題に挑み、解決策を生み出すためには、既存の概念にとらわれない創造的な発想力や企画力、直感が必要と考えます。教育再生実行会議の第九次提言でも同じようなことがうたわれているが、科員の先生方がこのようなスキルを獲得することで、部門長としては取り纏めに困るほど組織が活性化され、改革されることを期待しつつ人材育成に取り組んでいきたいと考える。

薬剤部紹介



【病院概要】

- ・病床数：250床（うち重心200床）
- ・標榜診療科：内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、小児外科、リハビリテーション科、放射線科、緩和ケア科
- ・敷地面積：約28,000㎡
- ・病院基本理念
 - 『正しい医療』 科学的根拠に基づいた正しい医療を心がける。
 - 『高度な医療』 高度で先進的な医療を日々研鑽して提供する。
 - 『やさしい医療』 生命と人権の尊厳をまもり、患者にとって最もやさしい医療を提供する。

当院は、昭和13年6月に陸軍戦車第19連隊付属の疾病収容施設として創設されました。兵庫県北播磨地域南部の小野市と加西市にまたがる青野原台地に永らく『兵庫青野原病院』として重症心身障害児（者）の療育、呼吸器難病・循環器疾患をはじめとした一般診療機能の充実を図って参りましたが、施設の老朽化のため、北播磨医療圏南部の医療ゾーンの現地に移転新築し、『兵庫あおの病院』と改称しました。機能類型は国立病院機構における『重心専門医療施設』となります。移転新築に際して、地域のニーズに答えるべく重心病床数を160床から200床に増床し、短期入所はもとより、在宅支援として通所事業を実施、障害児（者）地域療育在宅巡回訪問相談支援事業等包括的重心医療を推進しています。平成30年6月にはトラベルクリニック開設に向けて準備しております。



【薬剤科紹介】

薬剤科スタッフは女性ばかりの薬剤師4名と少ない人数ですが、基本理念、運営方針に基づき、部門目標を掲げ、業務に取り組んでいます。

1. 重心医療への関わり

重症心身障害児（者）への調剤業務は、計数調剤はごくわずかで、散剤調剤、粉砕調剤が、大半を占めています。抗てんかん薬を含め、投与時間も複雑で病棟スタッフの与薬作業のリスクが軽減できるように縦割り調剤としています。オーダリング導入をきっかけに、分散調剤システムに変更して調剤業務時間の短縮に繋げています。

一般病棟に加えて重症心身障害児（者）ご家族への服薬指導実施を手がけております。重症心身障害児（者）医療におけるエビデンスはまだまだ少なく、専門医療施設として、患者さまから得られた情報からエビデンスを創出し、医薬品の適正使用に繋げていきたいと考えています。

2. 医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進

医師、看護師のマンパワー不足が更なる業績向上のネックになっていることより、薬剤師の業務支援が必要不可欠となっています。全入院患者の持参薬情報を電子カルテに入力し、医師へ情報提供を行っています。主治医が持参薬の続行を判断した場合には、入力データがそのまま看護部門の経過表に反映されるシステムとなっており、医薬品の効率的利用のみならず、医師・看護師の業務負担軽減になっています。現時点では診療報酬上、非算定の障害者病棟において病棟薬剤業務を実施し、薬剤師が主体的に薬物療法により関われるように個々のスキルアップに努めております。（感染制御認定薬剤師1名、日本糖尿病療養指導士1名、漢方薬・生薬認定薬剤師1名、認定実務実習指導薬剤師3名）

3. 薬薬連携

近隣の薬剤師会へは薬剤委員会の結果、採用医薬品リストなど随時、広報。また、院外処方箋の記載方法変更および疑義照会の事前合意プロトコルを作成し運用しております。

（文責：岸本 歩）

実務実習生合同成果発表会を終えて

南京都病院 桑原 明日香

平成 30 年 3 月 3 日(土)に実務実習生合同成果発表会がハイアットリージェンシー大阪で開催されました。学生の参加者は 12 の会員施設から 67 名、大学関係者は 22 名、近畿国立病院薬剤師会の会員参加者は 161 名と多数の方々に参加されました。

今回で 5 回目の開催となる実務実習生合同成果発表会は、ポスター発表(第 1 部・第 2 部)、口頭発表、特別講演の構成で行われました。また、ランチョンセミナーでは寄席体験会として笑福亭呂好さんの落語と似顔絵セラピー村岡ケンイチ先生の対談があり、その後会員の口頭発表を控えていたわたしにとっては、とても心安らぐ時間となりました。また、機器展示コーナーもあり、新しい機器を体験、見学することができました。

ポスター発表は国立病院機構の会員発表と実習生の発表の 2 部で構成されました。今回初めてポスター発表される 1 年目の薬剤師の先生、そして学生も多く、とても緊張感が伝わってきましたが、多くの方々に参加され、活発な質疑応答が繰り広げられました。ポスターと口頭発表を合わせ会員発表 18 題(特別講演を含む)、実習生 22 題の合計 40 題と多数の演題が登録され、同世代の薬剤師の先生や学生たちの取り組んできたことや努力がうかがえ、わたしも多くのことを学ぶことができました。

今回わたしは、口頭発表をさせていただきました。なかなか大勢の前に立ち、口頭で発表する機会はないので、とても緊張しました。また発表に必要なデータ収集やスライドの作成、抄録等準備は大変でしたが、当病院の薬剤師の先生方の協力も得て、無事終えることができました。賞を取ることはできませんでしたが、1 年目からこのような経験をさせていただき、今後の課題も多く見つけることができました。特別講演では 3 人の主任の先生方にご講演いただきました。1 講演 5 分と短い時間でしたが、わかりやすく、ひとつひとつの講演に重みがありとても勉強になりました。

最後になりますが、開催にあたり、早朝から準備していただいた教育研修委員会の委員の先生方や事務局の先生方、また当日の進行をしてくださった先生方、講演をしてくださった先生方、各施設での実務実習を担当されていた先生方、当日参加してくださった方々、このような貴重な機会をつくっていただきありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

平成 30 年度 近畿国立病院薬剤師会学術大会 学術集会報告

宇多野病院 壇 梨恵

平成30年3月3日にハイアットリージェンシー大阪で学術集会が開催され、12演題のポスター発表及び3演題の口頭発表が行われた。「院外処方箋の疑義照会簡略化プロトコル導入とその評価」が優秀賞、「厳格な脂質管理が心血管イベントにもたらす効果についての検討」が特別賞を受賞した。

どの発表も興味深く今後の業務を行ううえで、大いに刺激となった。特に施設特有の内容で普段知ることのできないものもあり、大変興味深い学術集会となった。

〈ポスター発表〉

1. 「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度」評価における薬剤師の介入
大阪南医療センター 土江 亜季
2. 特定薬剤管理（ハイリスク薬）指導の実施率向上への取り組み
敦賀医療センター 笹谷 美砂音
3. 収受知己患者を対象とした薬剤師外来の解説
舞鶴医療センター 北野 祐香
4. 当院におけるナルデメジンロシル酸塩の使用調査
神戸医療センター 櫻井 さくら
5. 厳格な脂質管理が心血管イベントにもたらす効果についての検討
大阪南医療センター 三浦 奈々子
6. 血管新生阻害薬の尿蛋白測定状況について
大阪南医療センター 難波 優希
7. がん性疼痛緩和ユニットパスの取り組み～適切に疼痛評価を行えた一例を通して～
東近江総合医療センター 上野 由貴
8. 当院における抗線維化薬の副作用の発現頻度について
近畿中央胸部疾患センター 上柳 汐果

9. 術前休止薬再開指示の現状と課題

神戸医療センター 桶谷 芳里

10. 授乳婦のお薬相談窓口を開設して

京都医療センター 半井 春香

11. 当院における注射用抗菌薬の使用動向調査

敦賀医療センター 山本 友佳子

12. 医療安全対策への取り組みと現状評価

宇多野病院 壇 梨恵



〈口頭発表〉

1. 新規院内製剤セレン含有口腔内崩壊錠の作製と実用化に向けて

南京都病院 桑原 明日香

2. 病棟薬剤師常駐化への取り組み

近畿中央胸部疾患センター 関口 知弘

3. 院外処方箋の疑義照会簡略化プロトコル導入とその評価

舞鶴医療センター 田中 奈桜



平成 30 年度新採用職員(コ・メディカル、事務部門)研修に参加して

京都医療センター 藤本 佳奈

4月18日から20日までの3日間、大阪医療センターで開催された「平成30年度新採用職員(コ・メディカル、事務部門)研修」に参加いたしました。この研修を通して医療人としての薬剤師についてだけでなく、国立病院機構の職員として求められている役割やチーム医療について、他のスタッフとの関わりや社会人としてのマナーなど多くのことを学ばせていただきました。

1日目の部門別研修では薬剤師を取り巻く環境と医療の動向や医療安全についてなどの講義がありました。グループワークでは糖尿病患者さんの症例に対し各グループで検討し、問題点やどのような提案を行うべきかについて話し合い発表しました。私の班では患者さんが治療に対して積極性がないことを問題に挙げ、なぜ積極性がなくなっているのかを考え、視力低下に対してインスリン注射の補助器具の使用などの提案をする、糖尿病についてもう一度しっかり指導を行う等の改善策が出ました。ディスカッションを通して自分では考えつかなかった提案がたくさんあり、非常に勉強になりました。

2日目の集合研修では多職種の方たちとグループワークを行いました。業務内容紹介では他の職種の方々が日々どのような仕事をされているのかを詳しく知ることができました。班別討議では私たちの班は「赤字の病院を黒字にするには」という議題について話し合い、発表しました。算定できる診療報酬を積極的にとることや入院の回転率を上げる等の意見が出ました。今回の研修では普段あまり関わらない事務の方からの意見を聞くこともでき新たな観点を身につけることができました。またその他の班の発表を聞き、社会人として、薬剤師としてどのようなことを実践していけるかを考えることができました。

3日目には「接遇・コミュニケーション」の講義があり、身だしなみ、挨拶の仕方、電話対応について、名刺の受け渡し方などについて実践を踏まえながら詳しく教えていただきました。いままで正しいビジネスマナーについてきちんと知る機会がなかったので社会人としてのマナーを身につけるよい機会となりました。特に電話対応に関してはこれからの業務にも活かしていこうと思いました。

3日間の研修を通して薬剤師としての業務に対する理解が深まり、多職種の方と交流したことによりチーム医療において多職種のことを知ることがとても大切だということを学びました。

まだまだ薬剤師としても社会人としても未熟者ですがこの研修で学んだこと感じたことを活かし成長していきたい所存です。最後になりましたが今回の研修におきまして講義、演習を担当してくださった先生方に心より感謝申し上げます。3日間ありがとうございました。

日本環境感染学会総会・学術集会に参加して

京都医療センター 宮地 由香里

平成30年2月23日から24日の2日間、東京都にて開催された第33回日本環境感染学会総会・学術集会に参加しました。

今回のテーマは「感染制御における Best Practice の追及」であり、永遠の医療人の課題といえます。

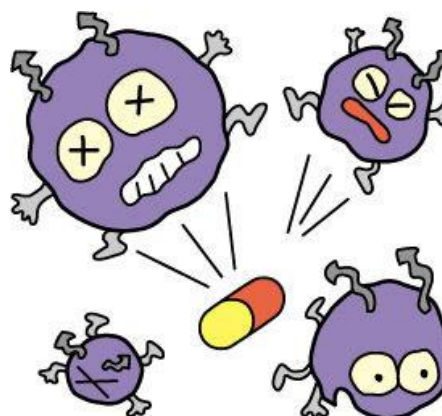
2018年に抗菌薬適正使用支援加算が新設されました。

今回の学会でもAST（抗菌薬適正使用支援チーム）関連の発表やシンポジウムが多くありました。抗菌薬投与量やTDM、処方支援など薬剤師の役割は大きいと感じました。

じわじわと迫るCRE（カルバペネム耐性腸内細菌化細菌）、VRE（バンコマイシン耐性腸球菌）の最新の知見も聞くことができ、脅威を感じました。

また、この学会は多職種協働を感じられる場であり、薬剤師だけではなく医師・看護師・検査技師の意見を聞けるのはとても有意義に感じました。

抗菌薬の適正使用の推進、その中での薬剤師の役割が強く求められていると感じることができました。今は手探りですが確立して貢献したいと思います。



新採用者紹介

～①氏名 ②施設 ③出身大学 ④座右の銘、好きな言葉 ⑤抱負～

①田中 綾(タナカ アヤ)

②宇多野病院

③武庫川女子大学

④「為せば成る、為さねば成らぬ、何事も」

⑤4月より宇多野病院に配属になりました田中綾です。まだまだ覚えることも多く、先輩方にご迷惑をおかけしながら日々学ばせていただいております。少しでも早く他の医療スタッフや患者様のお役にたてるような薬剤師になれるよう努力していこうと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

①高島 実希(タカシマ ミキ)

②兵庫中央病院

③摂南大学

④「一期一会」

⑤4月より兵庫中央病院でお世話になっている高島実希です。至らない点やわからないことも多いですが、周りの先生方のご指導を受けながら、日々勉強させていただいています。少しでも早く、患者様や他の医療スタッフの皆様にご信頼していただけるような一人前の薬剤師になりたいと思います。よろしくお願いいたします。

①安居 佐織 (ヤスイ サオリ)

②姫路医療センター

③武庫川女子大学

④「継続は力なり」

⑤4月より姫路医療センターに配属されました安居佐織です。趣味は旅行で、その土地の温泉に入りリフレッシュしています。先生方にはご迷惑おかけすることも多いと思いますが、少しでも早く一人前の薬剤師になれるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

①民輪 英之 (タミワ ヒデユキ)

②姫路医療センター

③神戸学院大学

④「粉骨砕身」

⑤今年度の四月より姫路医療センターに入職いたしました民輪英之と申します。他の薬剤師の方、他職種の方そして患者様から信頼していただける他の薬剤師にはない自分だけの個性を持った **only one** の薬剤師になりたいと考えています。日々の業務で得られる学びを大切にしながら、理想の自分に近づけるように日々精進していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

①中田 賢(ナカタ マサシ)

②近畿中央胸部疾患センター

③大阪薬科大学

④「大事なことは、過去を嘆く今ではなく、今を変えようとする未来への意思だ。」

⑤はじめまして、この度近畿中央胸部疾患センターに配属となりました中田賢と申します。患者さんや他の医療従事者に頼られるような薬剤師となるために、今なすべきことに手を抜かず一所懸命に頑張りたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

①山口 真実 (ヤマグチ マミ)

②大阪南医療センター

③神戸薬科大学

④「思い立ったらすぐ行動」

⑤4月から大阪南医療センターに配属になりました山口真実です。まだまだ不慣れで未熟ではありますが、失敗を成長に変え、立派な薬剤師になれるように1つ1つの業務をしっかりとこなしていきたいです。ご指導のほどよろしくお願い致します。

①佐伯 安里紗 (サエキ アリサ)

②南和歌山医療センター

③京都薬科大学

④一日一日を大切にす

⑤配属されてあつというまに1か月も過ぎ、毎日諸先輩方にはご迷惑をおかけしてしまいながらも温かくご指導頂きつつ、己の未熟さを知るばかりです。これから一つずつ着実にできることを増やして成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

①佐方 俊介 (サカタ シュンスケ)

②南和歌山医療センター

③神戸薬科大学

④他尊自信

⑤4月より南和歌山医療センターに配属となりました佐方俊介と申します。病院薬剤師として勤務を始め、まだまだ日が浅く、目の前のことに精一杯取り組む日々を送っています。少しでも早く、薬剤部の一員として、医療に貢献していきたいと考えております。至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

①太平 明香 (オオヒラ ハルカ)

②南和歌山医療センター

③大阪薬科大学

④焦らず、ゆっくり、前向きに

⑤入職して1か月半たちますが、業務のこと、薬のこと、毎日が勉強です。胸を張って、この病院の薬剤師の一員です、と早くいえるように、ジェネラリストを目指して、一生懸命取り組んでいきたいと思っております。ご迷惑をおかけすると思っておりますが、頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

①白崎 佑磨 (シラサキ ユウマ)

②大阪南医療センター

③金沢大学

④「継続は力なり」

⑤4月から新採用となりました、白崎佑磨と申します。まだまだ至らぬ点が多々あり、ご迷惑をおかけしておりますが、先輩方から様々なことを教えていただきながら、日々業務に励んでおります。1日でも早くジェネラリスト、さらにはスペシャリストとして活躍できるよう、精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

① 高屋 麻由 (タカヤ マユ)

②東近江総合医療センター

③京都薬科大学

④あきらめない

⑤東近江総合医療センターに配属になりました高屋麻由です。まだまだ分からないことが多く、先生方にはご迷惑をお掛けしてばかりですが、一日でも早く一人前の薬剤師として貢献できるように頑張ります。患者さんをはじめ、スタッフの方々からも頼りにされることを目指し、笑顔を忘れずに日々精進して参ります。
これからもどうぞよろしくお願い致します。

①辻合 美智子 (ツジアイ ミチコ)

②和歌山病院

③京都薬科大学

④「諦めなければ必ず道はある」

⑤四月より和歌山病院に入職致しました辻合美智子と申します。仕事を始めて一か月が経ちますがまだまだ慣れないことが多く、先生方にご迷惑をおかけしてばかりですが、日々の経験や失敗から学び、少しでも早くジェネラリストになれるよう、また他職種の方と積極的にコミュニケーションをとり患者さんに寄り添った医療を提供できる薬剤師になれるよう精進して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

①川上 智広(カワカミ トモヒロ)

②神戸医療センター

③神戸薬科大学

④「笑う門には福来る」

⑤4月から神戸医療センターに配属になりました川上智広です。仕事が始まり1か月が経ちました。業務に少しずつ慣れてきましたが、まだまだ覚えきれてないことや分からないことが多くあり、先輩方にはご迷惑をおかけしていると思いますが、ご指導のほどよろしく願いいたします。

①綿榎充穂 (ワタエ ミホ)

②神戸医療センター

③京都薬科大学

④一期一会

⑤4月から神戸医療センターに配属となりました綿榎充穂です。今はまだまだ周りの先生方の助けやご指導なしには何も出来ない未熟者ですが、出来るだけ早く一人前の薬剤師として患者さまや皆様のお力になれるよう、感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきます。今後も何かとご迷惑おかけしますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

①高村有沙 (タカムラ アリサ)

②奈良医療センター

③同志社女子大学

④思い立ったが吉日

⑤4月から新しく奈良医療センターに配属になりました高村有沙です。

入職して一か月がたちましたが、まだまだ慣れないことも多く薬剤部の先生方に支えていただきながら日々の業務に取り組んでいます。早く薬剤部の戦力となれるように、毎日少しずつでも新しいことを学び成長していきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しく願いいたします。

①井倉 恵 (イクラ メグミ)

②国立循環器病研究センター

③北里大学、大阪大学大学院

④「Big You Small i」

⑤12年ぶりの復帰です。国立を退職してからの12年間、大学での非常勤講師、中小病院、大規模臨床試験のデータ収集補助、保険薬局と育児以外にも様々な経験をしてまいりました。

「Big You Small i」、自分のことよりも相手の立場に立って考え行動するということ。年も年ですし、一日一日を大切に、今回復帰した意味を考え、自分が病院に、また社会に貢献できるよう、目の前の小さなことから一つずつ誠実に取り組んでいきたいと思っています。

①久米 麻世 (クメ マヨ)

②国立循環器病研究センター

③大阪薬科大学

④全力投球

⑤4月から国立循環器病研究センターで勤務させて頂いております。一か月経ちますが、なかなか業務に慣れず、先生方にはご迷惑ばかりおかけしています。少しでも早く薬剤部の戦力となれるよう、

薬剤師として活躍できるよう、様々なことにチャレンジし、成長していきたいと思っておりますので、ご指導よろしくお願い致します。

①松井 和樹 (マツイ カズキ)

②国立循環器病研究センター

③近畿大学

④Take it easy

⑤入職して1か月が経ちましたが、まだまだ慣れないことばかりで、ご迷惑を掛けっぱなしでございませう。1日でも早く、薬剤部の柱になれるように日々勉強していきたいと思っておりますので、ご指導よろしくお願い致します。

①水上 想莉（ミズカミ アイリ）

②国立循環器病研究センター

③星薬科大学

④すべてに感謝

⑤業務に慣れることに精一杯の毎日ですが、まずは先生方から教えていただいたことを確実にできるようにしていきたいと思っております。そして、循環器疾患について知識を深め、患者様にとって最善の薬物治療を提供できるように努力していきます。よろしくお願いいたします。

①正木 美有（マサキ ミユ）

②国立循環器病研究センター

③神戸薬科大学

④継続は力なり

⑤今年の4月から国立循環器病研究センターにて薬剤師レジデントとして入職しました、正木美有と申します。周りの先生方に色々なことを教わりながら日々業務をしていますが、まだ慣れない部分も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思います。1日でも早くお力になれるようにこれからも頑張っていこうと思っているので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

①野里 直子（ノザト ナオコ）

②国立循環器病研究センター

③京都薬科大学

④千里の道も一歩から

⑤はじめまして。4月より国立循環器病研究センターに勤務させていただいています。野里直子と申します。日々、業務の習得に向けて先生方のご指導のもと、精進して参ります。将来は様々な気付きを大切にできる薬剤師を目指して頑張ります。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

①石野 佑樹 (イシノ ユウキ)

②舞鶴医療センター

③神戸薬科大学

④陰徳あれば陽報あり

⑤四月から舞鶴医療センターでお世話になっている石野佑樹です。毎日先生方に教えて頂き、またご迷惑おかけしてはいますが、患者様からも医療従事者からも頼りにされる薬剤師になれるように日々精進してまいりますので、これからもご指導よろしくお願い致します。

①堀田優衣 (ホッタ ユイ)

②兵庫あおの病院

③神戸薬科大学

④努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。

⑤4月より兵庫あおの病院に配属になりました堀田優衣と申します。入職して1カ月が経ち、働くという環境には少しは慣れてきましたが、日々学ぶことが多く先生方にご指導していただき毎日を送っています。まだまだ未熟者ですのでご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、少しでも早く医療に貢献できるよう精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願い致します。

①藤本 佳奈 (フジモト カナ)

②京都医療センター

③大阪薬科大学

④日々精進

⑤4月より京都医療センターに配属となりました藤本佳奈です。入職して1ヶ月がたちましたが、まだまだわからないことが多く、失敗することも多々あり、周りの先生方にご迷惑をおかけしてばかりですが、日々たくさんの方の事を教えていただき充実した毎日を過ごしています。薬剤師として少しでも貢献できるよう精一杯頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

①苗村 彰浩 (ナムラ アキヒロ)

②大阪医療センター

③神戸薬科大学

④一生懸命

⑤4月より大阪医療センターに配属になりました苗村彰浩です。

仕事を初めて1カ月が経ち、業務にも少し慣れてきましたが、まだまだ覚えることも多く、先生方にはお世話になってばかりですが、日々積極的に学び、自分の成長に繋げていきたいと思っております。至らない点も多いかと思いますがご指導のほどよろしくお願い致します。

①篠原 莉奈 (シノハラ リナ)

②大阪医療センター

③大阪薬科大学

④昨日の自分を超越る

⑤4月より大阪医療センターに配属になりました篠原莉奈です。入職して1ヶ月経ち、まだまだ不慣れなことが多く先輩方には迷惑をかけていますが日々の経験や失敗を学びに変え一日でも早く一人前の薬剤師になれるように頑張ります。ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

①大橋 香菜子 (オオハシ カナコ)

②南京都病院

③大阪薬科大学

④一生懸命

⑤1つでも多く出来ることを増やしながらどんどん新しいことを吸収して自分のものにしていきたいです。また調剤業務、病棟業務だけでなく臨床研究にも積極的に挑戦していきたいです。

趣味のページ ～文豪たちの愛した外湯めぐり～

やまと精神医療センター 大住 悠介

大阪南医療センターの齊藤先生よりバトンを引き継ぎました、やまと精神医療センターの大住と申します。趣味のページの依頼が来てから「私の趣味はなんだろう」と考えてみました。美味しいものを食べること、旅をすること、小説を読むことの三つだと気が付きました。ちょうど今年の2月に城崎温泉旅行にて三つの趣味すべてを網羅しましたのでそのことについて書きたいと思います。

昨年12月某日、「城崎温泉に行ってみよう」と学生時代の友人たちが言い出してから3ヶ月くらいで計画を立て今年の2月に友人たちとのスケジュールを合わせて一泊二日で城崎温泉に行ってみようしました。

城崎温泉は外湯めぐりの原点であり、多くの文豪たちに愛された温泉地といわれています。外湯は御所の湯、一の湯、さとの湯、鴻の湯、地蔵湯、柳湯、まんだら湯の7つあり良縁成就、合格祈願、不老長寿などそれぞれ異なったご利益があるようです。今回私は時間の都合上4か所しか回れませんでした、いずれは7か所全て制覇したいと思います。



宿泊した旅館では17時ごろから早めの夕食を取りました。蟹刺し、蟹すき、蟹鍋と蟹三味の食卓でした。料理は全て美味しかったのですが、蟹を食べている間は全員無言で会話らしい会話はありませんでした。これも蟹の醍醐味の一つでしょうか。…。

食後は温泉へと赴きました。旅館の浴衣、雪駄を借りて、細雪のちらつくなか温泉街を歩いていると風情があり、まるで映画やドラマの中にいる気持ちでした。

ところで、城崎を舞台にした小説といえば志賀直哉の「城崎にて」ですが、城崎温泉では毎年著名な小説家が城崎温泉を舞台に小説を書き、城崎限定で販売しているそうです。私が訪れた時は「告白」等で有名な湊かなえさんの作品が販売していたので購入いたしました。その作品は1人で思い出の地の城崎温泉に訪れた女性のお話で、読了後にもう一度城崎温泉に訪れたいくなるような内容でした。正直なところ、こういった企画が行われていることを知らなかったため私にとっては棚からぼた餅、思わぬ収穫でした。



食事、旅行、読書の3つ全てを満喫できた充実した休日となりました。

ご拝読ありがとうございました。次回の趣味のページは兵庫中央病院の石裏 悠希先生にお願いしております。楽しみにしております。

編集後記

♪ 毎年のことになりますが、年度始めはスタッフの入れ替わりも多く、どこの施設も忙しく日々の業務を行っていらっしゃると思います。そんな中、今号も多くの方々に原稿執筆にご協力頂きありがとうございました。

♪ 今年も多くの新採用の先生方が仲間に加わりました。私が1年目の時に比べて、皆さん非常に色んなことを知っていて、よく驚かされます。昨年のお話になりますが、薬価が約950万円の薬が発売され、非常に衝撃を受けました。次々に新しい作用機序の薬が発売されていくため把握しきれませんが、グループの繋がりを活かしながら情報のアップデートをしていきたいですね。

♪ みなさん、BLSやICLSのコースは受講されたことはありますか?? 土俵上だけでなく、様々な場面で救命措置が求められる可能性があると思いますので、受講されていない先生方は是非受講されてみてはいかがでしょうか?

(R.O.)

近畿国立病院薬剤師会誌

第五十四号 平成30年5月発行

発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局

京都市伏見区深草向畑町1-1

(独立行政法人国立病院機構京都医療センター薬剤部内)

発行人 会長 本田 芳久 (京都医療)

編集 広報担当理事 山下 大輔 (京都医療)

広報委員 小田 亮介 (京都医療)

藤原 佐知子 (大阪南医療)

喜田 孝史 (京都医療)

中西 剛志 (姫路医療)